



平成26年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルアドベンチャー
代 表 者 代表取締役社長 李 命学
(JASDAQ・コード 4772)
問 合 せ 先 管理本部長 大山 智子
TEL 03-6809-6118

業績予想値と実績値との差異、および特別損失計上に関するお知らせ

平成25年8月6日に公表しました平成25年12月期（平成25年1月1日～平成25年12月31日）連結業績予想値および個別業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成25年12月期通期連結業績予想数値と実績値の差異（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,560	百万円 △600	百万円 △650	百万円 △550	円 銭 △10.13
実績(B)	3,795	△500	△538	△433	△7.99
増減額(B-A)	235	100	112	117	
増減率(%)	6.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	4,409	△188	△138	△215	△3.97

2. 平成25年12月期通期個別業績予想数値と実績値の差異（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,380	百万円 △620	百万円 △510	円 銭 △9.39
実績(B)	3,618	△466	△402	△7.40
増減額(B-A)	238	154	108	
増減率(%)	7.0	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	3,179	△138	△146	△2.70

3. 業績予想値と実績値の差異の理由

売上高は、個別決算において物販事業でアーティストグッズのスポット案件があったこと、また前連結会計年度に購入した大型版権の事業化が概ね実現したこと等により前回公表予想を上回っております。連結決算においては、個別決算での差異を要因として前回公表予想を上回っております。

利益面は、個別決算において売上高の伸びを要因として営業利益、経常利益および当期純利益とも、前回公表予想を上回っております。なお、個別決算では、経常利益において想定以上の円安によりウォン資金で為替差益を計上、当期純利益において当社が保有する持分法適用関連会社の株式評価損を計上しております。連結決算においては、個別決算での差異を要因として前回公表予想を上回っております。

4. 特別損失の計上について

(1) 内容

当社が保有する持分法適用関連会社において、当期末における実質価額が当社評価基準以下となったため、個別決算において関係会社株式評価損46百万円を計上いたしました。

(2) 今後の見通し

上記の特別損失は、本日公表の「平成25年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映されております。

以上